

令和6年度「青少年の体験活動推進企業表彰」募集要項

1. 目的

社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた取組を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図ることを目的とする。

2. 対象となる取組の主体と内容

以下の条件を満たす取組を実施する企業が表彰の対象となる。

(1) 主 体：日本国内に拠点を有する企業（営利を目的として経済活動を継続して実施する法人格を有した組織）

(2) 内 容：①上記（1）の企業がCSR活動として実施した、青少年（おおむね18歳以下）を主な対象とした体験活動。ただし、過去に文部科学大臣賞を受賞した取組又は文部科学大臣賞を受賞した取組と継続性がある取組、及び当該期間に国から直接委託を受けて実施した取組、並びに企業が本来業務として実施する営利活動における取組は対象外とする。

②令和5年4月1日～令和6年3月31日までに実施されたもの。

【参考】

「体験活動」は、その内容に応じて、大きく三つの体験に分類される。一つ目は生活・文化体験活動であり、例えば放課後に行われる遊びやお手伝い、野遊び、スポーツ、部活動、地域や学校における年中行事である。二つ目は、自然体験活動であり、例えば登山やキャンプ、ハイキング等といった野外活動、又は星空観察や動植物観察といった自然・環境に係る学習活動である。三つ目は、社会体験活動であり、例えばボランティア活動や職業体験活動、インターンシップである。

中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について」（平成25年1月）より

3. 表彰について

審査委員会による審査を行い、以下の賞を授与する。

(1) 文部科学大臣賞

特に優れた企業（大企業部門：1件、中小企業部門：1件）に対して授与する。

(2) 優秀賞

優れた企業に対して授与する。

(3) 特別賞

●特別賞（スペシャルニーズ賞）

上記「2. 対象となる取組の主体と内容」の条件を満たす活動であって、特別な支援や配慮を要する青少年（障害・不登校・特異な才能・日本語指導等）のための取組や、特別な支援や配慮について理解を深めるための取組のうち顕著な取組に対して授与する。

●特別賞（連携賞）

上記「2. 対象となる取組の主体と内容」の条件を満たす活動であって

て、青少年教育団体等と企画段階から密に連携して行った取組のうち顕著な取組に対して授与する。

(4) 奨励賞

青少年の体験活動の推進に大きく寄与することが期待される取組を行った企業に対して授与する。

4. 審査方法・スケジュール

1次審査において、最終審査に進む上位10件、並びに特別賞及び奨励賞を決定する。最終審査において企業によるプレゼンテーション審査を行い、文部科学大臣賞及び優秀賞を決定する。

表彰式では、全ての受賞企業に賞状を授与する。

【特別賞エントリー・審査方法】

応募様式の「10-1. 特別賞エントリー希望」において、希望の有無及び希望する特別賞の種類に○をし、同様式「10-2.」に取組の内容を記載。

特別賞へのエントリーに○をした企業のみ、応募様式10-2.の記載内容について審査を行う。

応募受付開始 令和6年9月13日（金）

応募受付締切 令和6年10月25日（金）

1次審査結果通知 令和6年12月上旬

最終審査・表彰式 令和7年1月17日（金）

【会場：国立オリンピック記念青少年総合センター】

5. 応募提出書類

(1) 応募様式（別添1参照）

- ・応募様式はA4サイズ（フォントサイズ：10.5ポイント）で作成し、6ページ以内とする。
- ・PDFにて提出。

(2) 取組の概要がわかるPR資料（別添2参照）

- ・A4サイズ、1ページ以内とする。
- ・フォントサイズは10.5ポイント以上とする。
- ・赤字を削除し、PDFにて提出。

(3) アンケート用紙

※審査対象外

6. 応募方法

上記5.の応募提出書類を、下記宛先まで送付。

募集期間：令和6年9月13日（金）～令和6年10月25日（金）

提出方法：E-mail

2件以上応募の場合、件名にて件数を明記すること。

（例：「【1／2件目】応募書類提出」）

アドレス：e-taiken@wolfstyle.co.jp

（「青少年の体験活動推進企業表彰」事務局 宛）

7. 注意事項

- ・ 本件の運営支援業務について、株式会社ウルフスタイルと請負契約を締結している。そのため、本件についての連絡は株式会社ウルフスタイル内に設置された事務局を通じて行う。
- ・ 複数の応募及び複数企業の連名によるエントリーも可能とする。
- ・ 審査に関する問い合わせは受け付けない。
- ・ 企業名や活動内容を、新聞、雑誌、インターネット等で公表する場合がある。また、マスコミからの取材に協力を依頼する場合がある。
- ・ 応募受付後、事例集作成における協力（写真・ロゴマークの提供、原稿の確認等）を依頼予定。

8. その他

受賞企業には受賞ロゴを配布する。受賞ロゴは、受賞企業の栄誉を讃えるとともに、表彰の対象となった事業の広報等に活用いただけるものとする。

【申込みに関するお問い合わせ】（令和6年9月2日～令和7年3月31日）

株式会社ウルフスタイル 内

「青少年の体験活動企業表彰」事務局（担当：富田）

T E L : 03-6264-0577 【10:00～17:00（土日祝日は除く）】

E-mail : e-taiken@wolfstyle.co.jp

【事業全般に関するお問い合わせ】

文部科学省 総合教育政策局

地域学習推進課 青少年教育室 事業係

T E L : 03-5253-4111 [内線2971]

E-mail : seisyone-jigyoku@mext.go.jp

U R L : https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/2024/index.html

令和6年度「青少年の体験活動推進企業表彰」審査基準

1. 社会貢献の取組

活動を通していかにして社会に貢献するか、そのねらいの明確さ、工夫、及びその成果 等

2. 教育的配慮

活動における教育的ねらいの明確さ、そのねらいに応じたプログラムデザインの工夫や子供たちへの関わり方の工夫、及びその成果 等

3. 本業との関連性

本業（技術や資産、人材 等）を活用することで活動を充実させる工夫や、活動を通して得られた成果を本業に活用する工夫、及びその成果 等

4. 地域社会やステークホルダーとの関連性

情報収集や情報発信における工夫、関係者を巻き込む工夫、及びその成果 等

5. 社内理解への配慮

経営層の理解を得ることや会社を横断的に巻き込む工夫、及びその成果 等

6. 新規性・発展性

新規性や先駆性（特に新たに取り組む活動において重視）、もしくは、これまでの実践や成果をもとにしたPDCA等改善の取組や発展の過程（特に過去から実践を重ねてきた活動において重視） 等

令和6年度「青少年の体験活動推進企業表彰」特別賞審査基準

特別賞にエントリーしている場合のみ、記載内容について、下記の観点において審査を行う。

1. スペシャルニーズに関する取組

活動におけるねらいの明確さ、達成のための工夫及びその成果 等

2. 地域や青少年教育団体等との連携

連携先を含めた事業体制、継続性の確保のための工夫、実施に際しての工夫及びその成果 等

令和 6 年度「いーたいけんアワード（青少年の体験活動推進企業表彰）」応募様式

記入日：令和 6 年 9 月 30 日

下記のとおり「いーたいけんアワード（青少年の体験活動推進企業表彰）」に応募します。

- ※フォントは 10.5 ポイントとします。
 ※各記入欄の枠サイズは変更しても構いません。
 ※6 ページ以内に収めるようにしてください。
 ※必要に応じて、事業の様子が分かる画像データを様式に盛り込んでも構いません。
 ※「※」および「例」等青字の説明書きは、適宜削除して構いません。
 ※「実践の概要が分かる PR 資料」は当様式とは別に作成してください。※A 4 サイズ、1 ページ以内。

（ふりがな） 企業名	かぶしきがいしゃ〇〇〇 株式会社〇〇〇
代表者名	〇〇 △△
所在地	〒100-〇〇〇〇 東京都千代田区〇〇〇〇
会社概要	教材開発および商品の全国展開
企業規模 （該当する箇所の （ ）に○を付けて ください。）	大企業 （ ○ ） 中小企業 （ ） ◆業種：サービス業 ◆資本金の額又は出資の総額：100,000,000 円 ◆常時使用する従業員の数：1500 人 ※中小企業の定義：中小企業庁ホームページ参照 http://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html
担当者名 （所属・名前）	SDG s 推進室 〇〇 △△
担当者連絡先	住所：東京都千代田区〇〇〇〇 〒100-〇〇〇〇 TEL：03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：△△@〇〇〇〇.com
「子供の体験活動推進宣言」賛同団体への登録	有（ ○ ） ・ 無（ ） ※体験活動推進特設ページ(たっぷり体験) ホームページ参照 https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/mext_00935.html

【事業概要】

(ふりがな) わくわくキャンプ

○事業名：

「わくわくキャンプ」

○事業の概要（50～100 字程度）：

近隣の小学校の児童を対象とした、2泊3日、日帰りのキャンプを主催。キャンプでは……。……………。

※ 受賞の場合に、「青少年の体験活動推進企業表彰」事例集（下記アドレス参照）に使用します。

※ 事例集ダウンロード https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken/1296811.htm

○応募企業と事業実施主体が異なる場合（例：企業がCSR活動として団体を立ち上げ、その団体が実施した体験活動でエントリーをしている 等）、応募企業との関係性を明記してください。

※該当しない場合は項目ごと削除いただいて構いません。

株式会社〇〇〇が、子供たちへ様々な体験活動プログラムを提供するため、〇〇〇団を立ち上げた。メンバーの7割が社員で構成されている。

【事業の詳細】

1. 実施回数・分類

○事業実施開始年度：（2015年度より実施）

○事業実施回：（通算 13 回目）

○事業の分類：※該当箇所に○を付けてください。

☒ ①生活・文化

☒ ②自然・環境

☐ ③科学・技術

☐ ④職業・仕事

☐ ⑤その他

2. 事業の趣旨（目的）

自然体験活動を通して、子供たちに……。また、……。

3. 事業の内容

○実施日・期間（対象事業：令和5年4月1日～令和6年3月31日までに実施した事業）

①令和5年7月22日～24日（2泊3日）

②12月16日（日帰り）

○実施場所

①〇〇〇自然の家 ②〇〇海岸周辺

○参加対象と参加者数

①小学4年生 100名

②小学5年生 100名 のべ200名

○具体的な活動内容（例：登山、スポーツ）

キャンプファイヤー、クラフト体験、マリンスポーツ

○連携機関（例：行政機関・NPO・学校・社会教育施設・民間企業）

※連携内容（「共催」「協力」「後援」「協賛」等）も分かるように記載ください。

共催：株式会社〇〇〇

協力：〇〇〇山の家、〇〇小学校

4. 社会貢献の取組

（例：活動を通していかにして社会に貢献するか、そのねらい、工夫、及びその成果 等）

- ・どのように**社会貢献**するか
- ・なぜそのねらいを立てたか
- ・ねらいを達成するために何をしたか、工夫点など
- ・どのような効果が見られたか

等を具体的に記載ください

5. 教育的配慮

（例：活動における教育的ねらい、そのねらいに応じたプログラムデザインの工夫や子供たちへのかかわり方の工夫、及びその成果 等）

- ・**教育的観点**からのねらい
- ・なぜそのねらいを立てたか
- ・ねらいを達成するために何をしたか、工夫点など
- ・子供たちへのかかわりかたの工夫
- ・どのような効果が見られたか

等を具体的に記載ください

6. 本業との関連性

(例：本業における技術・資産・人材等を活用することで活動を充実させる工夫、活動を通して得られた成果を本業に活用する工夫、及びその成果 等)

- ・ 本業で培った技術・資産・人材をどのように体験活動で活用したか、工夫点
- ・ どのような効果が見られたか
- ・ 体験活動の提供によって得られたことを、本業でどう活かしたか

等を具体的に記載ください

7. 地域社会やステークホルダーとの関連性

(例：情報収集や情報発信における工夫、関係者を巻き込む工夫、及びその成果 等)

- ・ 地域社会やステークホルダーからどのように情報を集めたか、その工夫
- ・ 地域社会やステークホルダーへどのように情報を発信したか、その工夫
- ・ 取組に巻き込む工夫
- ・ どのような効果が見られたか

等を具体的に記載ください

8. 社内理解への配慮

(例：経営層の理解を得ることや会社を横断的に巻き込む工夫、及びその成果 等)

- ・ 社内理解をどのように広めたか
- ・ 事業実施にあたり、社内体制についてどのような工夫をしたか
- ・ 他の部署の社員をどのように巻き込んだか

等を具体的に記載ください

9. 新規性もしくは発展性

(例：①②のいずれか、もしくはその両方を記載。①新規的、先駆的な取組（特に新たに取り組む活動において重視）、②これまでの実践や成果をもとにしたPDCA等改善の取組や発展の過程（特に過去から実践を重ねてきた活動において重視） 等)

- ・ ①の場合…どのような点で新しいか、実施にあたり工夫した点、その効果
- ・ ②の場合…過去の取組をどのように見直し、改善したか。工夫した点、その効果

等を具体的に記載ください

10-1. 特別賞エントリー希望

①特別賞にエントリーを	希望する (☐) ・ 希望しない (☐)
②希望する特別賞の種類	・ スペシャルニーズ賞 (☐) ※対象：特別な支援や配慮を要する青少年（障害・不登校・特異な才能・日本語指導等）のための取組や、特別な支援や配慮について理解を深めるための取組 ・ 連携賞 (☐) ※対象：青少年教育団体等と企画段階から密に連携して行った取組

10-2. 上記 10-1. ②において○をした取組について、下記に詳細を記載してください。希望しない場合は記載不要です。

（例：ねらい、工夫した点及びその成果、事業体制 等）

※該当しない場合は項目ごと削除いただいて構いません。

・ スペシャルニーズ賞を希望する場合…実施した体験活動において、特別な支援や配慮を要する青少年のための取組、または、理解を深める工夫 ・ 連携賞を希望する場合…青少年教育団体等と、どのように連携して体験活動を企画、実施したか。事業体制や工夫 等を具体的に記載ください
--

11. 「青少年の体験活動推進企業表彰」への応募状況

○応募年度：(H25 年度 ・ H26 年度 ・ H27 年度 ・ H28 年度 ・ H29 年度 ・ H30 年度 ・ R 元年度 ・ R2 年度 ・ R3 年度 ・ R4 年度 ・ R5 年度) (初めて) <u>※企業としてではなく、今回応募いただいた取組について回答してください。</u> <u>※該当箇所全てに○を付けてください。</u>
--

12. その他特記事項

※特にSDGsに関連した取組がある場合は、17の目標のいずれに該当し、その目標に対してどう取り組んでいるか、記載してください。

・ SDGs の 17 の目標のうち、該当するもの（あれば） ・ その目標のためにどのように工夫したか ・ どのような効果が見られたか 等を具体的に記載ください
--

〇〇〇〇(活動の名称)

キーワード

環境教育／エネルギー／食育 など

取組概要

(取組の概要を記載)

取組詳細

(取組の詳細を記載)
(写真、文字など、様式自由)

成果

- ・〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇。

参加者の声

- ・〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇。

基礎情報

企業所在地

(例)東京都

活動場所

(例)・小学校
・〇〇海岸

対象者

(例)小学生

実施日程

(例)令和4年7月
～8月

参加者数

(例)のべ300人

別添2

必ずPDF化し、提出してください ※枠、様式を変更しないこと

〇〇〇〇(活動の名称)

キーワード

環境教育／エネルギー／食育 など

取組概要

(取組の概要を記載)

取組詳細

(取組の詳細を記載)
(写真、文字など、様式自由)

成果

- ・〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇。

参加者の声

- ・〇〇〇〇〇。
- ・〇〇〇〇〇。

基礎情報

企業所在地

(例)東京都

活動場所

(例)・小学校
・〇〇海岸

対象者

(例)小学生

実施日程

(例)令和4年7月
～8月

参加者数

(例)のべ300人

必ずPDF化し、提出してください ※枠、様式を変更しないこと